

第4号

明大校友会西東京だより

発行 明治大学校友会 西東京市地域支部 事務局 西東京市芝久保町 2-1-21 (有賀) TEL 042-467-9815

平成二〇年度定期総会を、五月一八日田無庁舎にて開催。来賓を含め三五名が出席。石井幹事の司会により有賀支部長を議長選出後、議事に移った。鶴田幹事長、丸岡会計幹事、水井会計監査、各々より「平成一九年度会務報告、決算報告、及び監査報告」がなされた。引き続き垂水副幹事長、吉田会計幹事より「平成二〇年度事業計画案及び予算案」が上程され、承認可決。北部支部長林様からご祝辞を頂き、江原副支部長の閉会挨拶で終了。総会も三回目を数え、出席者数の伸び悩みが課題となった。その後、懇親会に移り、昭和一九年繰り上げ卒業の安田實氏の乾杯でスタート。ささやかながら熱い交流が展開され



平成20年度明大校友会西東京市地域支部総会

西東京市地域支部総会報告

た。安田会員は学徒出陣時の明大総長や校友達の寄せ書きされた日章旗をご披露。当時の思いが込められた日の丸に、平和は今日からは遠くなった激動の昭和史の断片に触れる一刻でした。最後に、武藤幹事指導の下、全員肩を組んでの校歌熱唱でお開きとなった。



祝 安田実氏入会 新支部長 水井 幹事長

全国支部長・地域支部長本部員懇親会

七月一九日本学アカデミーコモンにおいて二〇〇余名が出席し開催された。懇親会は、青木校友会長村山名誉会長のあいさつ、長堀新理事長、納谷学長の祝辞、新支部長および新地域支部長が紹介された。

議事に入り「明治大学教育振興協力資金」の募金推進について報告があり、現在七億円の協力を得ているが今後も目標達成に向け推進することに決定した。

報告事項として、二〇〇七年度決算。二〇〇八年度

予算等について承認した。引き続き納谷学長の「世界に開かれた大学」と題し講演があり、二〇〇八年度新司法試験合格者五位、二〇〇七年度公認会計士合格者四位にランクされているとのことである。

明治大学校友会 代議員総会開催

七月二〇日本学リパティホールにおいて「定時代議員総会」が開催され、三〇〇名余の代議員が出席した。総会は、青木会長等のあいさつ、長堀理事長他の祝辞があり議事に入る。報告事項として、二〇〇七年度会務報告他二件。審議事項として二〇〇七年度決算、二〇〇八年度事業計画・予算他七件について審議決定した。

又、親子孫三代、兄弟三代以上の卒業生九組二七名の校友表彰が行なわれた。

最後に九月一四日開催される全国校友秋田大会および来年度開催される富山大会のアピールがあり閉会した。

東京都「北部支部」総会報告

丸岡 忠明

明治大学校友会、東京都北部支部、二〇〇八年度定時総会が五月三十一日、紫紺館で開かれました。

我が西東京市地域支部からは、支部長を含め一〇名が出席しました。

第一部、開会のことばに続き、林支部長の挨拶、来賓紹介のあと第一号議案の二〇〇七年度事業報告、決算報告があり、承認されました。

第二号議案は、二〇〇八年度事業計画、予算案が提出され、承認されました。

第三号議案は、明治大学教育振興協力資金の募金について三浦副支部長より報告があり「目標五三〇〇万のところ、二〇〇八年二月末で集まった金額二六二一万一五〇〇円で、四九・四四％。皆様の一層のご協力を」とのことでした。

そのあと来賓の挨拶があり閉会しました。

第二部は懇親会、我が武藤幹事の司会進行により開催されました。開会の辞は有賀支部長です。新設された「明治大学国際日本学部長、蟹瀬誠一教授」の祝辞にはさすがテレビコメントーター、一同話に魅き込まれました。

その後出席者お互いに親交を深め盛況のうちに終わりました。



私の趣味

大橋 逸男

ご趣味はと聞かれますと、迷わず絵を書くことと答える。(油絵を主とし、補助的に水彩画、アクリル画 等々)。よいご趣味ですネと、褒められることもあり、また時には、プロ並の腕前ですネと褒められることもある。

この趣味は、長い会社勤めの間中、そして退職後の今回に至る迄、五十余年に亘り、絶やすことはなかった。いつてみれば、これは一種の病気であるが心得、今日の私があったたのではないかと、むしろ、いとおい気持ちで来し方を振り返っております。

この病気が発症したのは、会社勤めが始まってから三、四年目頃だったと思います。商学部商学科卒の身形を持って入社すると先ずは、経理、財務関係の部門へと入った。ところが、経理部会計課が最初の職場でした。当時は、会計伝票の起票から、決算諸表の作成に至るまで、算盤に頼る時代でしたから大変でした。電算化された今日の職場とは全く様子が違いました。

明けても暮れても、借方貸方、決算、決算と追い回されていた毎日でした。そのうえ、この職場は職人堅気の人が多く、また、徒弟制度的な名残りがまだに残っており、また、私に就いては余り住み心地のよい職場ではなく、閉鎖的な特殊部落と映りました。私という小さな歯車は、必死に廻っている実感はあっても全体のメカニズムが、よく見えていなかったりも知れませんが、無味乾燥、情熱も枯れるのではという思いが日に日に強くなり、前途を危ぶみ、悩むことが多くなりました。

この頃、不定愁訴という言葉が流行りました。今日

的には、神経衰弱、ノイローム、うつ病といった類いも知れませんが、自分も不定愁訴かと、己を疑ったことも何回かありました。こんな時の一人の先輩の言葉は、まことに貴重なものでした。「真面目に止めれば癒しがあるよ。仕事の中に遊び心を少し入れたらどうかね」と。私はハッと気がつきました。ガチガチの仕事人間だったのだ。軌道修正に時間ばかり使っていました。「自分は子供の頃から絵を書くことが大好きだった。絵を画いていると無性に楽しく、又、安心がすることに癒しを求めよう」と。趣味の原点はここにあったように思えます。私はためらうことなく絵を始めました。暇があれば絵を書くようになり、これも云々です。選手は、走った距離は裏切らない」と。私は「画いた枚数は裏切らない」と。さて、人は八十路に入ると己の棚卸しをしなくてはならないか、私も多量に洩れ先日、自身の棚卸しを実施しました。その結果、本体の老朽化が著しく、また各所部品も機能劣化、陳腐化が著しいことが判明いたしました。棚卸し評価を計上すると、本体評価額は相当低く低下することが分かりました。先般、政府は我々、後期高齢者なる怪しげなる名称を付けてくれましたが、これに代わり私は光輝高齢者という名称により胸を張りたいものと思えます。手元にある長寿十戒に、こんなことが書いてあった。「八十にして迎えがきた、まだまだ早いと追い返せ」と。よい戒めと納得。私の今は日本美術家連盟正会員、元創元会会員、東京都市美術展顧問、西東京市美術協会会長、となっており、商学部商学科卒の変わり種は、このような姿で、まだまだ生き伸びます。

ハイキングに行ってきました

野口 清次

六月七日(土)、支部長以下一五名(男性七名、女性八名)で開催した。奥武蔵自然公園内の天覧山、多峯山周辺を飯能駅を起点に約9kmの行程を一周した。

天覧山多峯山共低い山ながら南方は遮るものが無く、展望の良い山として知られ、天覧山には十六羅漢の石像、多峯山には黒田直邦の墓石や、常磐御前に纏わる墓標の跡等の史跡や伝説で一般に知られている。

天覧山から多峯山に至る緩やかな登り路は新緑の香が漂い鼻喉が出そうな気分になると云った人がある。多峯山の山頂近くに直径一〇m程の「雨乞の池」があり年中、水が涸れたことがなく、日照続きの時刻ここで住民が神に雨乞いの儀式を



行なうそうである。この日は蛙の子が水面を真黒に染めていた。

最後の登りを終え、多峯山山頂に立ち互に握手を交し、達成感、適度の疲労感を楽しんだ。

山頂での食事は旨く増して車座で談笑しながらのそれは格別だ。

能仁寺の名園を觀賞しながら暫し休憩。各々の顔色の宜しきを見て安堵し駅へと向かった。

第2回 日帰りバスツアー(静岡柿田川湧水と長岡温泉)

- ◆出発日: 10月23日(木) 昼食付き
- ◆対象: 会員・家族及び会員の友人
- ◆定員: 28名(最小催行人員20名)
(定員超過時は補欠となります)
- ◆参加費: 会員と家族 8,000円 友人9,000円
- ◆申込期間: 9月1日(月)~5日(金)
- ◆申込先: 電話 423-6822 (13:00~17:00) 垂水(タルミ)
FAX 423-6822 (11:00~17:00)

集合場所と参加者名をお知らせください。後日、担当役員が「振込用紙」を届けます。

◆行程: 集合場所は保谷庁舎前7:15又は西東京郵便局前7:20
出発7:30保谷庁舎前→7:50西東京郵便局前→国立調布IC→(中央・富士)→須走IC→御殿場IC→(東名)→沼津IC→柿田川湧水(散策)→サンパレー長岡(昼食・入浴・休憩)→沼津(買物)→沼津IC→(東名)→西東京郵便局前17:40→保谷庁舎前18:00(予定)

*タオルは必ず持参してください。
(1) 柿田川湧水群: 誕生は約8,500年前。なお、一日百万トンの水量は東洋一の湧水で熱海市の水道水として送水しています。
(2) 中伊豆の東にある古奈温泉は、鎌倉時代に開湯した古湯で、一方西にある長岡温泉は明治時代に湧出した新しい温泉です。この二つの温泉を総称して伊豆長岡温泉といっています。



古都鎌倉の散策及びハイキングのご案内

- 開催日 平成20年11月29日(土)
 - 対象者 会員・家族及び会員の友人
 - 参加費 無料、但し交通費、入館料、拝観料等は各自負担
昼食・飲料水は各自ご持参下さい
 - 集合 北鎌倉駅前9時40分(雨天中止)
(湘南新宿ライン-新宿発8:44~北鎌倉9:37が便利)
 - 行程 北鎌倉-円覚寺-建長寺-天園ハイキングコース~
9:50 10:20 (2:15) (所要時間)
鎌倉宮-八幡宮-鎌倉駅-(江ノ電)-長谷駅-長谷寺
13:00 14:30 15:00
~長谷駅-江ノ島駅-江ノ島-江ノ島駅-湘南江ノ島駅=
16:30 17:19
モノレール=大船駅-乗り換え=新宿駅
17:33 17:35 18:22
- *乗車券はJRの「鎌倉-江ノ島フリーきっぷ」を最寄りのJR駅(山手線内発)でお求め下さい。
江ノ島電鉄各駅の乗り換えが自由です。料金=1,970円
*問い合わせ: 042-463-5644 (野口)

「パソコン」教室

小山 弘之

今日、コンピュータやデジタル機器の機能は正に日進月歩の様相を呈しています。こうした状況下でホームページとEメールを組み合わせて校友会会員の親睦と交流、広報の道具として有効活用され実効を挙げて

いる支部・地域支部が国内外に見受けられます。我々西東京もこれに倣い、「通信の電子化」を推進することとなりまして。実現までには紆余曲折が予想されますが、先ずは役員間での勉強会と試行から始めるべし

で、その第一歩としてパソコン初心者の方々を対象に研修会を行いました。私が講師を務め、鶴田幹事長宅にて五月の第二と第三週の各三日間の延べ六日間、マウスやキーボードの基本操作、ネット検索、簡単なメールの受発信等を体験して

戴きました。新しい事に進んで挑戦された先輩各位の気概は正に明大精神そのものの、心から敬意を表する次第です。また、快くご協力を戴いた鶴田ご夫妻に心から御礼申し上げます。

「俳句との出会い」

江原 弘泰

(昭和三十四年商学部卒)

私と俳句との出会いは昭和四十六年秋。私が旧第一銀行勤務中でその時は人事部で主に都内店の人事指導と管理を担当しておりました。またま都内某支店の人事管理の指導に伺った折、支店次長が俳句集を読んでいたのにお聞きしたところ東北大の俳句部に所属し今でも当時の仲間と交流しているとのこと。その後復店指導が終った夜近くの飲み屋で一杯飲みながら俳句談義を拝聴しました。特に松尾芭蕉の「奥の細道」について

は学者並みの一見識をもっており、その熱意と説得力で門外漢であった私は俳句に興味を持ちはじめた次第です。その後は銀行業務に忙殺され、すっかり俳句の世界は忘れ去ってしまいました。その後年月を経て私が五二歳の時、旧本店のあった丸の内一ノ一番地の跡地に二四階建ての新築ビルに出向を命じられました。富士通の本社が入り役員との接触が多く不動産管理会社の一員として頑張っておりました。私の直属上司の常務が京都大学卒の俳号を持った俳人でありました。一杯飲みながら仕事の話や趣味の話、特に俳句の話で毎晩楽しい時間を過ごしました。そこで私が俳句に興味があり、老後の趣味の一つに考えているとの話をうっかり洩らしたところ早速常務命令で一週間の間に俳句七句を作ってくるよう指示を受けました。その夜あわてて近くの八重洲ブックセンターに飛び込み「俳句入門書」初初心者の俳句等五冊ほど買い込み徹夜で読破した次第です。一週間後に何とか七句を作り常務に提出しました。庭を見ながら毎晩吟じた結果左記の初心者俳句が出来ました。今思えば冷や汗ものでしたが初めて俳句らしきものを作った第一号です。

- 一、枯木の影ゆがみけり
- 二、夜半の冬過ぎゆく風
- 三、枯木の弱き木影に

募集

雪残り 等々

これらは全て季語がダブっており俳句の形を為していないとの常務の厳しいご指導を受け季語の大切さを徹底的にご教導いただきました。その後常務は関連会社の社長にご栄転され、これを契機に自立した勉強をはじめました。先ず毎日新聞社の俳句講座を受講、その後現代俳句協会理事の橋爪鶴齋先生のご指導を受け今は月二回の「鶴の群」講座で研鑽中です。その間毎日新聞社俳句大賞に応募二点が入選しました。入選作、

- 一、灯台の官舎小さき
- 二、花柄の浴衣賑やかな
- 三、足場かな

編集後記

◆今年も真夏日が三〇日以上続きました。が会員及び家族の皆様におかれましては、いかがでしたか? 如何でしたか?

会報も第四号となり編集員も大部慣れ、皆様のご協力により昨年より一ヶ月早く八月に発行できました。

昨年第一回「日帰りバスツアー」は二三名の参加者があり好評で、第二回実施の希望も多く、十月に実施します。また、十一月にハイキングもありますので皆様の参加をお待ちしております! 六大学野球春季リーグ戦はハシースン振りに我が母校が優勝しましたが秋季リーグ戦も優勝を折って応援に行きたいと思えます。(垂水)